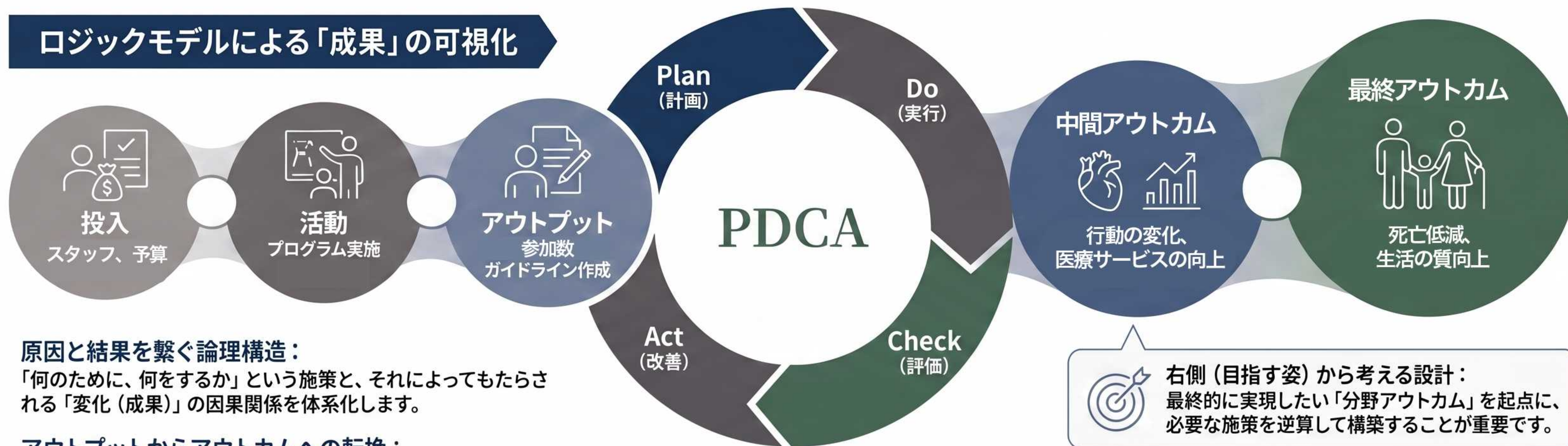


ロジックモデルを活用した循環器病対策の評価と推進

ロジックモデルによる「成果」の可視化



原因と結果を繋ぐ論理構造：

「何のために、何をするか」という施策と、それによってもたらされる「変化（成果）」の因果関係を体系化します。

アウトプットからアウトカムへの転換：

事業の実施数（結果）だけでなく、死亡率の低下や生活の質の向上（成果）を評価の核心に据えます。

科学的なPDCAサイクルの実装

4つの評価視点による整合性の確保



ニーズ、セオリー（理論）、プロセス（実行）、インパクト（効果）の多角的な視点で計画を検証します。

客観的指標（データ）に基づく現状把握



救急搬送時間やPCI実施体制などの数値データを用い、地域課題を浮き彫りにします。

熟議による政策の不断の見直し



評価支援シートを活用し、部会等での専門的な議論を通じて計画を改善へと繋げます。